

## 秋吉台 そろそろ秋の気配がする気配

晴天続き、きびしい残暑続きではありましたが、20日頃に降水があり、これを境に少しずつ秋の気配を感じるようになりました。強い日差しはあまり変わりませんが、空気は幾分涼しくなりました。秋吉台は、最近増えてきたメガルカヤが赤味を帯びて、草原も赤っぽく見え、ススキの花穂よりも赤いように思えます。その陰で咲き始めた秋の花たちは、例年に比べて花が少し小さいようにも見えます。これも天候不順のせいでしょうか。よくいわれる地球温暖化は、自然に生きる花たちは殊に切実に感じているのかもしれない。



## 季節の花 青いタヌキはご愛敬

**タヌキマメ** 日当たりのよい草原に自生するマメ科の1年草。秋吉台では草丈の高い植物に混じって咲いているので見つけにくいです。それに開花時間が晴れた日の午後の数時間とあってなかなか大変です。花は青紫色で愛敬のある顔をしています。

**ツルボ** 日当たりのよい畑の土手などに生えるキジカクシ科の多年草。地中には鱗茎があり、それから花茎を伸ばします。淡紅色の小さな花をつけ下から上へと開花していきます。

**シオン** 林縁に近い草原で見かけるキク科の多年草。花は直径3cmほどで淡紫色をしています。草丈は人の背丈よりも高く、写真を撮るのも工夫がいります。今年は今までになく多くの株が開花しました。



## 飛行機雲 時々空を見上げるのもいいかも

秋吉台の上空は航空機の航路となっていて飛行機雲がよく見られます。多いときは、数条の飛行機雲を一度に見ることもあります。先日夕方、花の写真撮影の帰りにカルストロードを走行しているときに、夕陽に映えて淡いピンク色をしている飛行機雲を見かけました。そのまま通り過ぎましたが、面白そうだと思って引き返しました。よく見ると4条の飛行機雲が分かります。それが放射状に伸びているように見えますがそれは遠近法で、実際はほぼ平行だと思えます。時折、空を見上げたら面白いものが見えるかもしれません。



## シンジュガヤ 大発見と思った記憶・・・

日当たりのよい草原に自生するカヤツリグサ科の多年草です。その名前のとおり果実は直径2mmほどの球形で、真珠のような光沢があります。秋吉台で初めて見つけたときは「これは大変なものを発見した」と思いましたが、周りにたくさんあるのが分かりガッカリした記憶があります。秋吉台で初めて見たということは、他所では見たことがないとも言えます。単に興味がないから気が付かないだけかもしれません。あまり好まれない花の仲間ですが、個人的には気に留めている草ではあります。



## マツバニンジン 今年も出会えた秘密の場所で！

草原に生えるアマ科の1年草です。例年開花を確認していた場所はカルストロード沿いで、時には道路整備で刈り取られたりしてしまうこともありました。また石灰岩の隙間などに生えたものは、早魃で立ち枯れてしまうなど、生育環境はよくありませんでした。ついにはここでも去年も今年も生えませんでした。今年見つけたのは別の場所で2株あり、開花を見ることができました。



ミニ写真展開催中 「権現山に見える風景」  
9月18日～10月28日

## 10月の行事

- 10月19日(土) 観察会「秋吉台の化石」  
秋吉台の化石を観察しながら秋吉台の成り立ちを学びます。
- 10月26日(土) 花の観察「花盗人の花日記」  
秋吉台を散策してムラサキセンブリなどの秋の花を楽しみましょう。